

# KEC2005年度 事業報告書

期間：2005年7月1日～2006年6月30日

## 1. 総括

当年度は05年夏に事務局を秋毎ビル1階に移転し、有限会社みみずく舎と共同で9月に情報・相談コーナーとカフェを兼ねた「みみずく舎」をオープンするなど、KECの活動は大きな展開を見せた。従来のソフト面での事業でも、「アドボカシー調査」での『NPOのためのアドボカシー読本』作成、同セミナー開催など、先駆的な事業を実施できた。

しかし06年2月末に組織運営をめぐっていくつかの問題が生じ、その解決に大きな精力を注がざるを得ない事態となった。結果として3月末で半分強の職員が退職、事務局体制は弱体化した。そうした中、2006年4月からはKECとして実施することを予定していた「わーす」（生きサポ）事業は取りやめを余儀なくされた。

4月から6月までの第4四半期は、3月までの事業の報告その他の事後処理等に追われ、事業遂行力は手薄となった。

組織面では、実吉威前理事長は一連の事態の責任を取って3月10日の理事会で辞任（後任＝中田豊一理事）、八十庸子前事務局長も事務局長職を辞し、理事長が事務局長を兼任した。4月15日には臨時総会が開催され、一連の事態の説明・共有とともに、今後のKECの活動・組織両面での方針が議論された。その議論は「新みみずくプラン委員会」と理事会に引き継がれた。

5月半ばから数名のボランティアの参加を得てみみずく舎（カフェ）の運営を再構築するとともに、KEC自体の中長期の方針見直しのために「新みみずくプラン委員会」を計4回開催、6月後半頃からようやく事業推進と計画づくりに力を割き始めた。

## 2. 事業

### < 1、運営相談および人材育成事業 >

- 1 - 1 相談事業
- 1 - 2 わーす事業（生きがいしごとSC神戸西 = しみん事業サポートネットワーク（SBSN）として実施）
- 1 - 3 研修事業
- 1 - 4 インターン等受け入れ事業
  - （1）日産ラーニング奨学生（宮部理さん）
  - （2）兵庫県・県職員「ボラターン」研修の受け入れ
  - （3）わーす・トライやるワーク
- 1 - 5 NPO等育成アドバイザー派遣事業（神戸市委託）

### < 2、情報提供事業 >

- 2 - 1 復興・市民活動情報誌「みみずく」発行
- 2 - 2 KEC Web
- 2 - 3 会員向け情報サービス
- 2 - 4 サンケイリビングへの情報提供
- 2 - 5 「市民活動軌跡展」による情報提供

### < 3、交流および協力関係の促進事業 >

- 3 サロン事業

### < 4、講師派遣および研修コーディネート事業 >

- 4 学び支援（講師派遣）事業

### < 5、調査研究、政策提言 >

- 5 - 1 アドボカシー調査（NPOの政策提案力調査）事業
  - （1）ヒアリング・研究会
  - （2）アドボカシーセミナー
  - （3）アドボカシーハンドブック
- 5 - 2 木口ひょうごNPOセンター研究会（KIP）
  - （1）「ひょうごCSO名鑑」の販売促進
  - （2）「ひょうごCSOサイト（仮称）」（「ひょうごCSO名鑑」Web版）の公開
  - （3）団体訪問と情報ライブラリーの作成
  - （4）研究会の実施
- 5 - 3 「中間支援調査」報告書出版事業
- 5 - 4 政策提言活動
- 5 - 5 「KEC10年史」出版事業

### < 6、事務局受託事業 >

- 6 - 1 ひょうご市民活動協議会（HYOGON）事務局
- 6 - 2 しみん事業サポートネットワーク（SBSN）事務局
- 6 - 3 市民社会推進機構（CAS）事務局

### < 7、その他の事業 >

- 7 - 1 ネットワーク活動・他団体の役員就任、各種の会議・研究会等への参加
  - （1）団体としての会員加入（個人名のものを含む）
  - （2）NPO同士のネットワーク・他団体の役員就任
  - （3）各種の会議・研究会等への参加
- 7 - 2 NPO共同オフィスの運営ならびにみみずく舎の運営協力
- 7 - 3 たんば・こうべコンソーシアム事業

## < 1、運営相談および人材育成事業 >

ボリュームに差はあるものの、「わーす」「アドバイザー派遣」「HVP法人化相談」が相談事業の3本柱であった。それぞれの特長を生かした支援を行った。

### 1 - 1 相談事業

HVP法人化相談 のべ86件

ひょうごボランティア基金チャレンジ助成への推薦 5件、採択1件

### 1 - 2 わーす事業（生きがいしごとSC神戸西 = しみん事業場<sup>®</sup> - ネットワーク（SBSN）として実施）

相談件数 のべ4,732件（9ヶ月間）

講座開催等 10種類・20講座、47コマ（tel、e-mail等を含む）

### 1 - 3 研修事業

おもにわーす事業の中で実施（上記）。

### 1 - 4 インターン等受け入れ事業

#### （1）日産ラーニング奨学生

宮部理さん（兵庫県立大学大学院M2生） ライブラリー整備を担当

#### （2）兵庫県・県職員「ボラターン」研修の受け入れ

阪上幸代さん、砂原孝さん 9月お披露目・大交流会など

#### （3）わーす・トライやるワーク

受け入れなし

### 1 - 5 NPO等育成アドバイザー派遣事業（神戸市委託）

9月～、4団体担当、のべ20回派遣

## 3.3 最終報告会

## < 2、情報提供事業 >

「みみずく」による情報提供が主なものであり、各号16ページと読みごたえはアップしたものの、年度内では21・22の2号の発行にとどまった。Webは更新体制が整わず、ほぼ休眠状態。

### 2 - 1 復興・市民活動情報誌「みみずく」発行

21号 11.25 5,000部

22号 5.1 3,000部

印刷を外注化し写真をはじめ全体に見やすくした。

### 2 - 2 KEC Web

05年夏以降、イベントや助成金情報の更新がストップ。自前情報の掲載以外は数件の情報提供。

### 2 - 3 会員向け情報サービス

ファクスによる情報提供を検討するも実施にいたらず。

### 2 - 4 サンケイリビングへの情報提供

月1回、3～4件のボランティア募集情報を収集・提供した。

### 2 - 5 「市民活動軌跡展」による情報提供

9.23～10.25、展示「みみずくとその時代展」

1.17～3.17、のべ30団体・48点の報告書、CD等を展示。入場・見学者数のべ800人。

### 2 - 6 「震災・まちづくり・市民活動」ライブラリー整備

所蔵する資料を閲覧・貸出に供するため、分類・整理とリスト作成を行った。

4月、「みみずく舎ライブラリー」としてWebにリストをアップ。

### < 3、交流および協力関係の促進事業 >

1階に降り、ふらりと訪れてくれる人どうしが出会う場に、少しずつなっている。イベントとしてはみみずく舎の全入居者による新事務所お披露目として大交流会を開催。その他わーすとしての開催が多く、KECとしての主催行事は数本程度。

#### 3 サロン事業

9.23 市民活動・大交流会 来場者約350人

ミニフォーラム ゲスト・木村由巳子さん、宮崎みよしさん、コーディネーター・今田忠さん

2.4 サイエンスカフェ

### < 4、講師派遣および研修コーディネート事業 >

口コミや紹介により講師依頼が入る一方、積極的な営業には出られなかった。スタッフ以外の理事・会員に担当してもらうことができなかった。

#### 4 学び支援（講師派遣）事業

講師派遣 19講座（2日間のプログラムも1講座とカウント）

すべてスタッフの派遣（＝7割を事務所が収入）

視察受入 8件

### < 5、調査研究、政策提言 >

3ないし4年間にわたるアドボカシー研究会の成果としてフォーラムの開催、ハンドブックの作成ができた。KIPの3年間も終了したことで、調査関係事業にひとつの区切りをつけた。

#### 5 - 1 アドボカシー調査（NPOの政策提案力調査）事業

（1）ヒアリング・研究会

ヒアリング15団体・人、研究会13回実施

（2）アドボカシーセミナー

11.5、6のべ参加者50人

（3）アドボカシーハンドブック

3月、A5判100ページ、1,000部発行

#### 5 - 2 木口ひょうごNPOセンター研究会（KIP）

（1）「ひょうごCSO名鑑」の販売促進

（2）「ひょうごCSOサイト（仮称）」（「ひょうごCSO名鑑」Web版）の公開

05.5公開、チラシ等により広報活動

（3）団体訪問と情報ライブラリーの作成

（4）研究会の実施

年度内は実施せず

5 - 3 「中間支援調査」報告書出版事業

実施せず

5 - 4 政策提言活動

生きサポ事業等について県に提言を行った。

5 - 5 「KEC10年史」出版事業

「みみずくいきづき まちがいろづく KOBE・市民活動ネットワークのつくりかた」

A5判112ページ、2,000部、価格840円（税込み）、9月刊行

5 - 6 NPO情報センターの商店街活性化への役割調査

1～3月、来場者に対しみみずく舎の商店街活性化への貢献などにつきアンケートを実施（回収約200件）。相互に好影響があるとの評価とさらなる期待が集まった。元町6丁目商店街に対し報告。

## < 6、事務局受託事業 >

6 - 1 ひょうご市民活動協議会（HYOGON）事務局

事務局としての動きは最小限にとどめ、企画についてはそれぞれの実行委員らを補佐。

9.24-25 交流合宿

2.25 コミュニケーション祭2006

6 - 2 しみん事業サポートネットワーク（SBSN）事務局

法人事務局として理事会運営、総会運営などを担当。

6 - 3 市民社会推進機構（CAS）事務局

『阪神・淡路大震災10年 市民社会への発信』刊行と記念フォーラム開催（7.23）を機に、都市生活コミュニティセンターにバトンタッチ。

## < 7、その他の事業 >

7 - 1 ネットワーク活動・他団体の役員就任、各種の会議・研究会等への参加

以下の諸団体・ネットワークにKECとして（一部個人名で）参加している。

団体としての会員加入（個人名のものを含む）

ひょうご市民活動協議会/HYOGON（正会員）；事務局

しみん事業サポートネットワーク/SBSN（ " ）；事務局

NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会（ " ）

日本NPOセンター（ " ）

シーズ（ " ）

拓人こうべ（旧・被災地障害者センター）（ " ）

神戸復興塾（実吉が塾生）

ひょうごんテック（実吉として個人会員）

NPO同士のネットワーク・他団体の役員就任

ひょうご市民活動協議会/HYOGON（実吉が運営委員・事務局長）

しみん事業サポートネットワーク/SBSN（実吉が専務理事）

日本NPOセンター（実吉が理事；2004年7月～2006年6月。また中長期

ビジョン検討委員に就任（2005年7月～）

ひょうごんテック（実吉が運営委員；2004年6月～2005年6月）

市民社会推進機構（CAS）（実吉が幹事；2001年9月～）

生活の場サポートセンターひょうご（実吉が世話人；2001年～）

ぼたんの会実行委員会（実吉が実行委員；2002年～）

白いりボン運動実行委員会（実吉が実行委員；2004年8月～）

たんば・こうベコンソーシアム（参加団体；2005年4月～）

各種の会議・研究会等への参加

NPOと行政の協働会議（兵庫県）

関西の中間支援組織の情報交換会（2003年8月～）

電通「NPO広報力向上委員会」（2003年9月～）

日本NPOセンター「NPOキャパシティビルディング（研修）委員会」（2004年6月～）

## 7 - 2 NPO共同オフィスの運営ならびにみみずく舎の運営協力

有限会社みみずく舎の事業推進協力

1階カフェおよび物販コーナーについて、人的に協力した。

NPO共同オフィス（3階）の運営

KECやわーす事務局が1階に降りたあとに大小の区画を設定、机・イス、電話・インターネット配線などを整備した。6月末時点で大区画（11坪）1件、小区画（机1つ）3件が利用中。

## 7 - 3 たんば・こうベコンソーシアム事業

丹波の森協会が事務局となり、いくつかのNPOが構成員となって、丹波と神戸両地域を結ぶ交流活動を企画。KECは神戸でのニーズ調査などを担当した。

### 3 . 組 織

#### 1 . 会 員

(正会員)

期首時点57名 (1増・4減)年度末時点で54名

(賛助/利用/購読会員)

	2003年度末	2004年度末	2005年度末(うち新規)
賛助個人	98	81	<b>58名</b> (10)
賛助団体	16	16	<b>5団体</b> (2)
利用個人	19	12	<b>8名</b> (1)
利用団体	32	19	<b>17団体</b> (5)
購読	64	48	<b>39名/団体</b> (6)
計	229	176	<b>127</b>

#### 2 . 理事会

2005年8月10日、9月16日、23日、11月1日、'06年1月18日、3月10日、4月3日に開催。  
その合間に運営会議を各1回程度開催した。